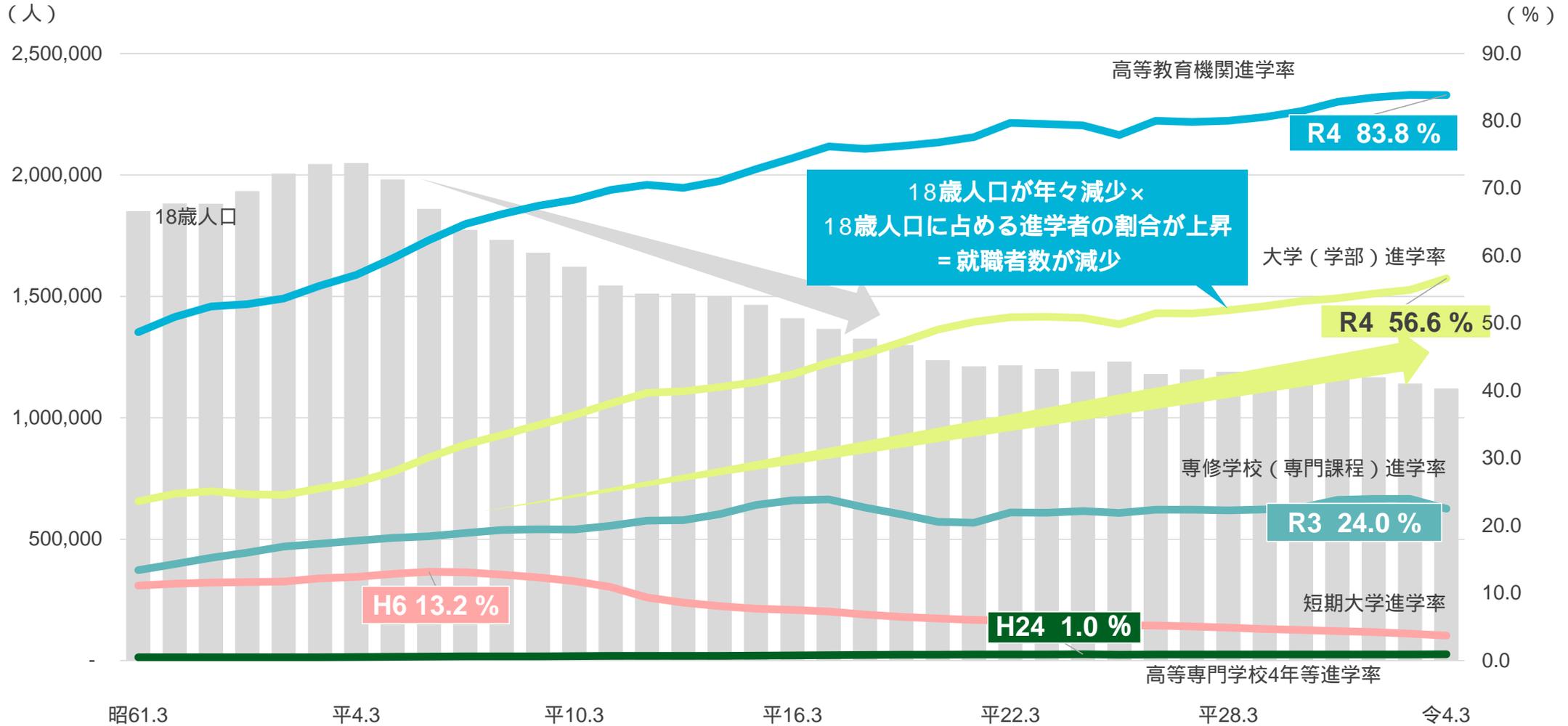




locus 地域への人材還流促進のご提案

株式会社マイナビ
未来応援事業本部 高校支援統括本部 locus推進部
2023.6 Ver1.0

全国の進学状況



[出典] 【文部科学省 令和4年度学校基本調査(確定値)報道発表資料より】 https://www.mext.go.jp/content/20221221-mxt_chousa01-000024177_001.pdf 閲覧日: 2023年4月7日

大学進学時の都道府県別流入・流出率

(計算式)

大学進学者数には過年度卒業生等を含む。

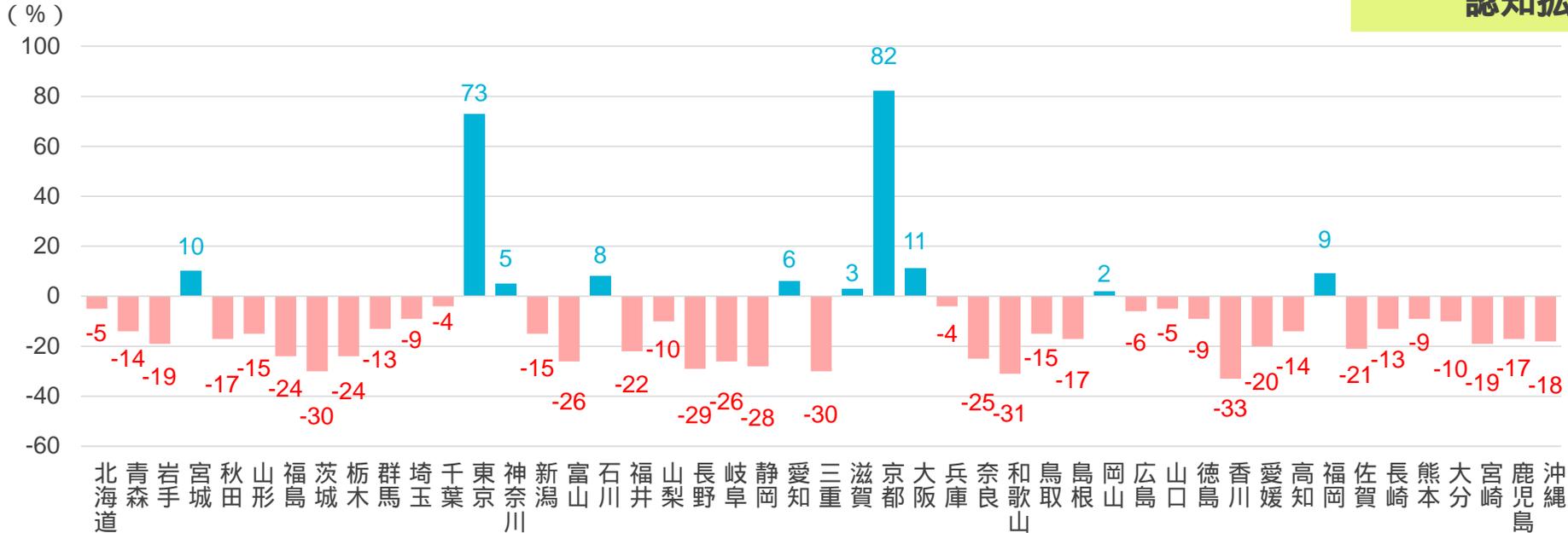
県外からの大学進学者数 - 県内高校から県外への大学進学者数)分子 / (県内高等学校卒業生数 + 県内中等教育学校後期課程卒業生数)分母

流入超過 10都府県 (京都府、東京都、大阪府、宮城県、福岡県、石川県、愛知県、神奈川県、滋賀県、岡山県)

流出超過 37道県

地元で働く自分を
考えてみるのが重要

地元の魅力や企業の
認知拡大を図る

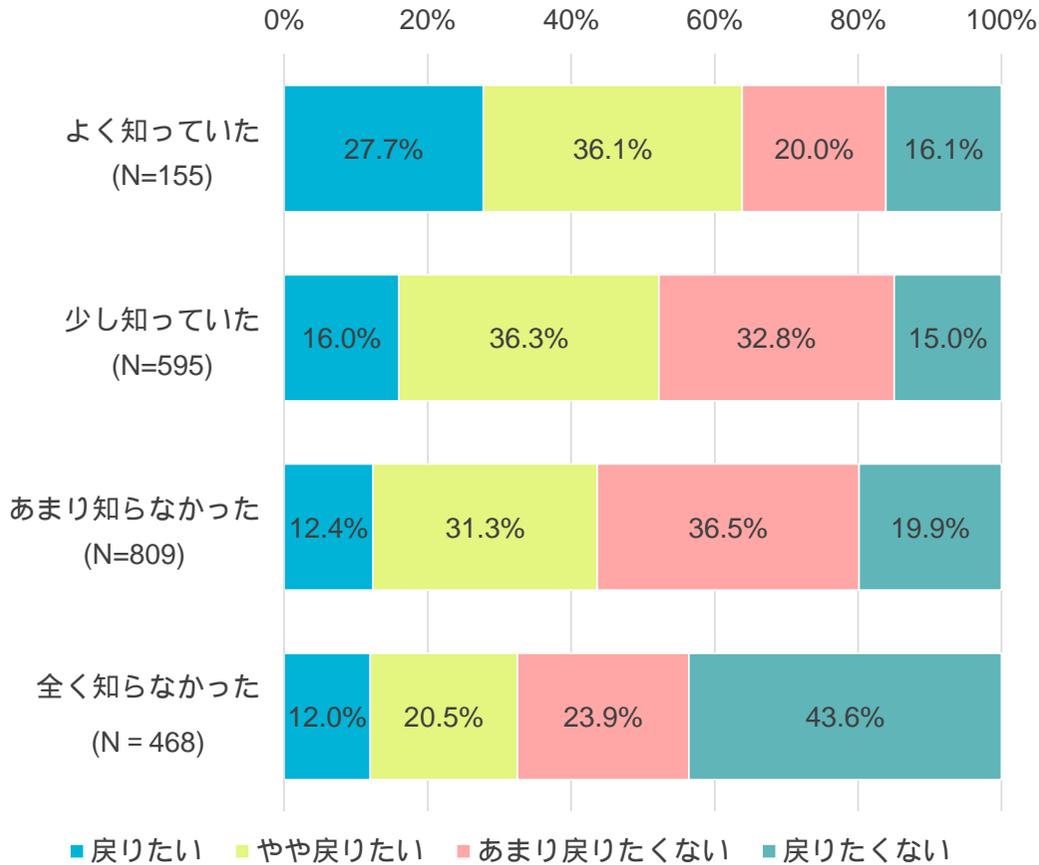


大都市圏以外の大半の県で流出超過

[出典] 文部科学省「学校基本統計(令和2年度)」, [文部科学省 参考資料より] 20211011-mxt_koutou01-000018366_04-1ex (mext.go.jp) 閲覧日: 2022年6月14日

将来の人材確保に向けた課題と対策

出身地町村へのUターン希望－高校時代までの地元企業の認知程度別



小数点第二位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります

(出典) 独立行政労働政策研究・研究機構「UIJターンの促進・支援と地方の活性化 - 若年期の地域移動に関する調査結果 - 」(2016年) <https://www.jil.go.jp/institute/research/2016/152.html> 閲覧日: 2023年4月7日



少子高齢化による人口減少、東京圏への一極集中、若年層を中心とした地方から東京圏への人口流出などにより、地方における人口、特に生産年齢人口（地域社会の担い手）の減少が危惧されている。地方においては、消費市場が縮小し、地方の経済が縮小する課題に直面している現状がある。

高校時代までの間に地元企業を知っている者は、将来的に出身市町村へのUターンを希望する割合が高い傾向にある。



地域への課題意識や貢献意識を持ち、将来、地域ならではの新しい価値を創造し、地域を支えることができる人材を育成するため、高校段階において、地域課題の解決等の探究的な学びを実現する取組等を推進する必要がある。

locusの目指すもの

高校卒業生全体の約8割 を占める進学者層は、現状、就職活動時まで地元企業を知る機会があまりありません。
高校時代に地域企業の認知度を上げることで地元企業への就職・転職を促進し、将来的な雇用の増大、産業・経済の発展に寄与いたします。

進学者に対し、地元企業の認知度を上げて、将来の地域就職を促進 locusを通して高校生・高校教員に早期ブランディングを

「locus(ローカス)」のプログラム



教育改革 探究学習について

本格化する 探究学習

文部科学省「学習指導要領」より

横断的・総合的な学習や**探究的な**学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や**探究活動**に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の在り方生き方を考えることができるようにする。

2022年から「総合的な学習の時間」が「総合的な探究の時間」に名称変更
標準的なプログラム 週35時間×3ヶ年

高校での 探究学習の流れ

「総合的な探究の時間」を意識した課題解決型の学びへ

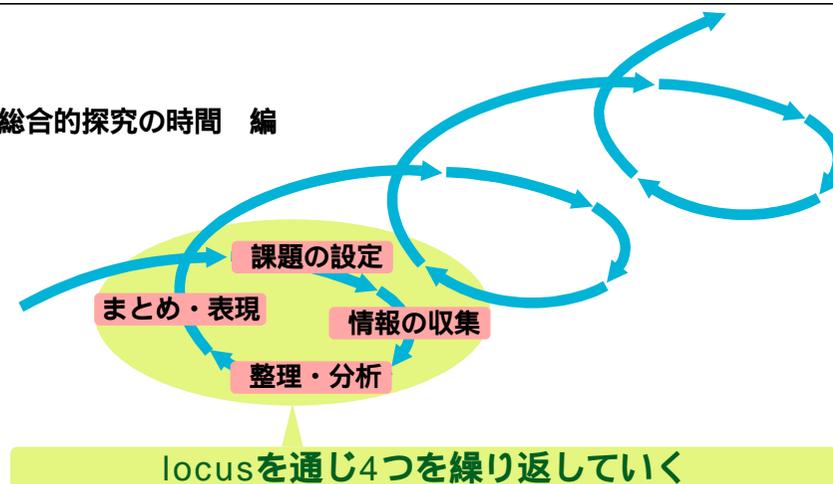
出典：文部科学省 高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 総合的探究の時間 編

探究における生徒の学習の姿

日常生活や社会に
目を向け、生徒が
自ら課題を設定する。

探究の過程を経由する。
課題の設定
情報の収集
整理・分析
まとめ・表現

自らの考えや課題が
新たに更新され、
探究の過程が
繰り返される。



探究学習と 地域の結合

- ・生徒にとって最も身近である地域と学校が手を携えながら、体験と実践を伴った探究的な学びを進めていくこと等が高等学校において必要であるとされております
- ・高等学校が、地元市町村・企業などと連携しながら高校生に地域課題の解決などを通じた探究的な学びを提供する取り組みを推進すること等が明記されたところです

文部科学省 地域との協働による高等学校改革の推進について（通知）より抜粋】 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/ka_kaku/1409268.htm 閲覧日：2023年6月27日

locusプログラムの流れ

locusプログラムでは、企業に訪問する前に、高校内で事前学習を行います。
事前学習では企業のプロフィールを事前に調べたり、企業訪問時の質問内容を考え、フィールドスタディ当日の準備をします。

地域課題のインプット

練習課題として地域課題
を考える

- ○○市の魅力を知る
- ○○市の産業を学習する
- 各自治体の課題を考える



事前学習

高校内で4時間程度

- 地域の魅力や課題を自己、他者、社会といった複数の視点で学ぶ。
- また、広い視野から課題を捉えて、俯瞰して物事を見る
- 企業訪問の準備
訪問先予約、訪問先調べ



事前事後学習の
教材を準備

企業訪問型

2～3時間程度

出張講義型

1～2時間程度



事後学習

高校内で4時間程度

- 企業訪問を振り返る
- 企業が取り組む実社会での課題解決方法を参考に高校生自身でも解決策を考える。
- 高校生が考えた課題解決の手法をアウトプットし、今後の学習へつなげる。



高校生との関わり方



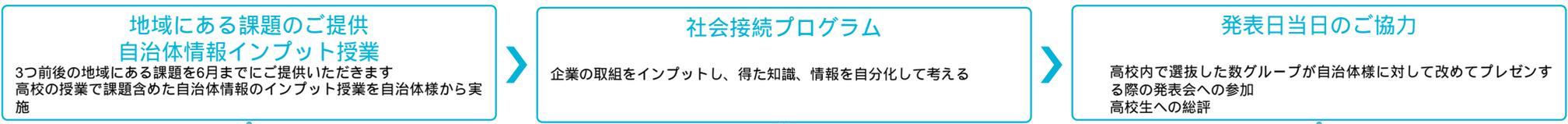
生徒が企業を選んで訪問



企業が高校へ来校し教室で実施

locusプログラム全体の流れ

連携における授業イメージ



	企業訪問型	出張講義型	リモート型
実施場所	各企業へ生徒が訪問	高校内に企業が来て授業を実施	高校内から企業とオンラインで接続
受入れ時間	2～3時間程度	1時間～2時間程度	1時間～2時間程度
イメージ	高校生が希望する企業へ直接訪問 	高校生が希望する企業が授業するクラスへ移動 1時間目 1 1組 A企業の授業 1 2組 B企業の授業 1 3組 C企業の授業 企業から課題解決の視点をインプット 2時間目 1-1組 1-2組 1-3組 高校生は企業の授業を聞いた上でグループワーク 企業様にはグループワークのサポートをお願いします。	各端末、教室から企業と接続 A企業:ライブ B企業:ライブ C企業:ライブ

企業活動の学習から地域でできることを自分ごと化させる

- 職業観の醸成
- 勤労観の醸成
- 学習意欲の向上
- 自己効力感の向上
- シビックプライドの醸成

locusプログラム（企業訪問、出張講義型、リモート型）当日について

共通した地域課題に向き合い、グループワークを通じて課題を自分事化するフィールドスタディを行います。

第1部 『企業のお話』 9:15-11:10

企業について

- 自社の事業紹介、業界・業種・職種、商品・製品・サービスについてのお話
 - 企業が地域・世の中を良くするために取り組んでいること
 - 会社見学・工場見学・社員座談会（企業訪問型のみ）
 - 施設見学や先輩のお仕事についての経験談などをお話しします
- 質疑応答・まとめの時間

第2部 『意見交流会』 11:20-12:00

意見交流会（グループワークや意見交換など）

- 「考える時間」と「発表／意見交換の時間」にわけて意見交流を行います

上記の時間は一例です



高校生

地域課題に対し地域企業と共に解決策を模索する（グループワーク）。その過程でその企業の持つ技術、リソースを吸収し、自分なりの解決法を導き出す。



- 企業の話聞くだけでなく、受け身にならない参加が可能（グループワークの効果）
- 企業の取組みを自分事化する



企業

自社の技術、リソースなどを高校生に伝え、共に考える事により、企業の本質を知ってもらい、将来の雇用に繋げる。



- 自社の理解の促進、将来の雇用の布石
- 高校生からの新たな視点に触れることができる

企業との新たな接点を作ることで、 将来の人材選流へ

フィールドスタディ（企業訪問）2020年～2022年までの実施エリア

2020年～2022年までの間に28道県59市町村で300回以上の案件実施

商工会議所との連携
 札幌商工会議所【後援】
 浜松商工会議所【共催】
 福山商工会議所【共催】
 高松商工会議所【後援】
 北九州商工会議所【共催】
 福岡商工会議所【共催】

広島県	広島市
【特別協力】	福山市【共催】
鳥取県	鳥取市【共催・予算化】
山口県	下松市【後援】
	下関市
	宇部市

福岡県	北九州市
	福岡市及び近郊
佐賀県	佐賀市
【後援】	
長崎県	長崎市【後援】
大分県	中津市
熊本県	熊本市【共催】
鹿児島県	鹿児島市【後援】
沖縄県	読谷村(周辺含む)
	那覇市【共催】

新潟県【後援】	新潟市【後援】
	長岡市
富山県【後援】	滑川市
	富山市
	砺波市
	高岡市
石川県	金沢市【後援】
	小松市【後援】

三重県	津市
	鈴鹿市
	桑名市
滋賀県	草津市
兵庫県	姫路市【共催】
	高砂市

香川県	高松市【後援】
愛媛県	松山市【後援】
静岡県	浜松市【後援】
	磐田市【特別協力】
愛知県	豊川市

北海道	北広島市
	石狩市
	札幌市【共催】
	江別市【共催】
	滝川市【予算化】
	深川市【予算化】
	旭川市【予算化】
	七飯町
	函館市
	音更町
	芽室町【共催】
	帯広市【共催】
	幕別町【後援】
	根室市
青森県	八戸市
岩手県	盛岡市【共催】
宮城県	仙台市
山形県	山形市

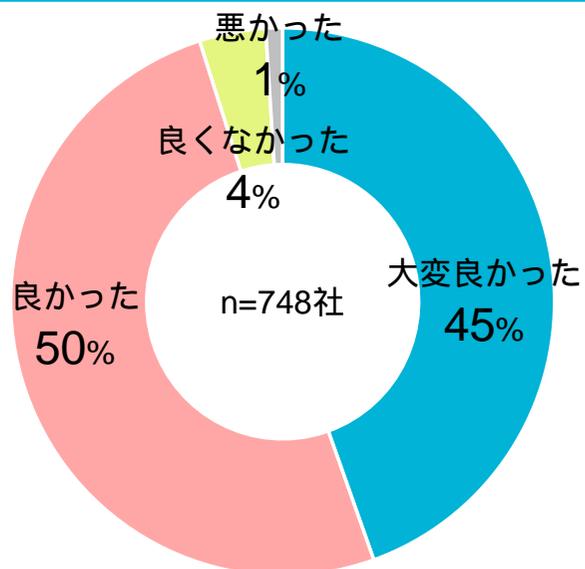
茨城県	土浦市
	つくば市
	水戸市【共催】
群馬県	高崎市
	前橋市【共催】
長野県	長野市
	上田市



共催・後援実績は2022年度実施のものとなります

2022年度フィールドスタディをお受けいただいた企業のアンケート結果

受入後の所感



フィールドスタディを実施することで、自社の事業活動や社会とのつながりなどをブラッシュアップできた。



人材採用のための足りない部分に会社側が気付くことができる。

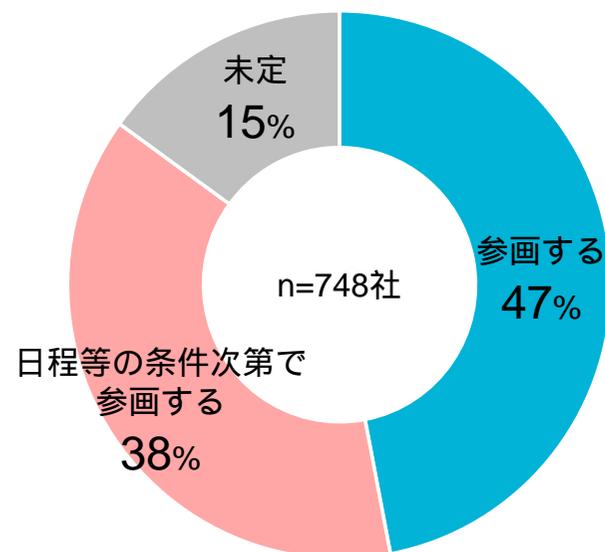


コロナ禍で企業訪問等皆無の中、高校生の方と接点をもつことができたのはありがたかった。



社内調査結果によれば、本件によりエンゲージメントが高まったようです。

次回の受入意向



地域密着型企业として今回のフィールドスタディへ参加できたこと、大変よかったです。また機会ありましたら、積極的に参加させていただきます。



当社の事業を高校生に知ってもらう機会となり、社内的にも採用活動への動機付けとなります。



継続的に参加することで弊社の知名度が高くなり、やがてメリットが具体的になることを期待します。色々な高校生との接点を創出できることを願っています。



接点を持ちたい高校でフィールドスタディに参加していない高校があるので、参加する高校が増加して欲しいです

高校生の感想抜粋

今まで経験してきた企業見学はB to Cの企業が多く、**消費者に直接サービスやものを届けない企業を見たことがなく**どのようなものかわかりませんでした。今回のフィールドスタディを通して知ることが出来ました。また中小企業の実際の雰囲気を知ることができてよかったです。将来のビジョンが少し具体的にみる事が出来ました。

(2022年度実施 A高校)

私はフィールドスタディに行く前は、正直なところ、会社のホームページの写真を見よイメージを抱きませんでした。しかし、実際は、少し油のにおいが強く、音がうるさかったけど、若い人も意外と多く、担当していただいた〇〇さんは明るくてとても親しみやすい人でした。**中小企業にあった固定イメージが今回の企業訪問で変わった**と思います。

(2022年度実施 B高校)

これまで知ることができなかった会社の内部について理解を深めることができよかったです。地元企業には元から関心がありましたが、何を作っている会社なのかがよく分からないことがありました。しかし今回の**企業訪問を自分の進路決定の参考に上手に生かしていきたい**と思います。

(2022年度実施 C高校)

富山県の企業でも社会に存分貢献できることを知りました。正直、県内の企業では自分のやりたいことができないのかと**思っていたので、県内の企業でも自分のやりたいことができることを今回知って、知らないだけで県内の企業の魅力はたくさんあるのではないかと**思いました。この経験を進路選択にも役立てていきたいです。

(2021年度実施 A高校)

今回のフィールドスタディを体験してみて、**県内企業が日本全国や世界各国で活躍していることに感動した**。しかも、ほかの県にはない富山県の魅力を生かした世界規模のホイールを作っていることを知り、自分が富山県に生まれ住んでいることに誇りを感じた。

(2022年度実施 A高校)

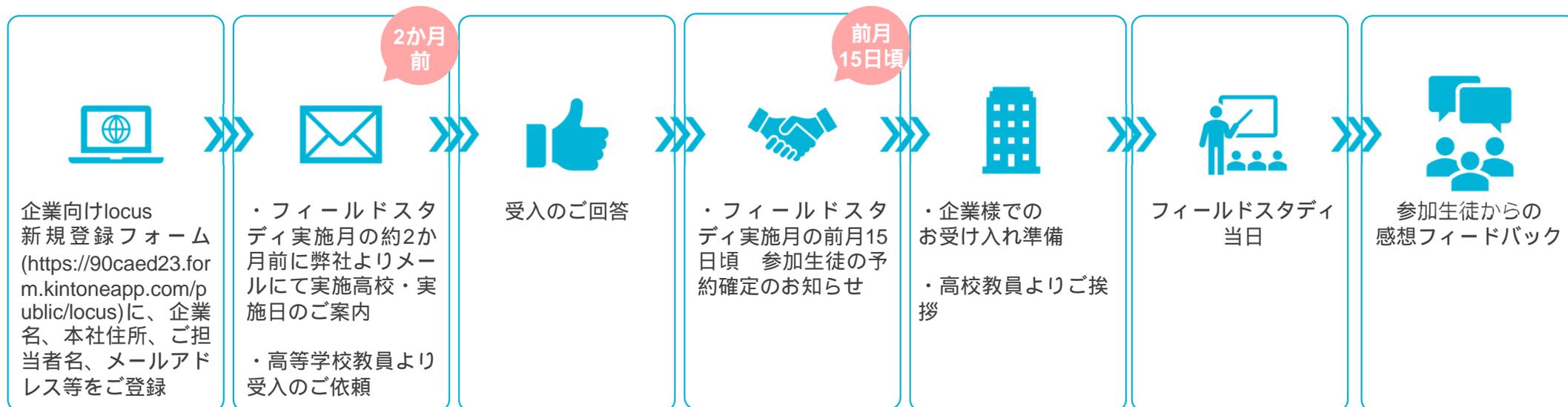
この体験を通して**以前よりも県内の企業に興味、関心を持った**。

(2022年度実施 C高校)

登録から受入まで（企業訪問型）

企業様がlocusに登録してから実際に受け入れるまでの流れを紹介します。

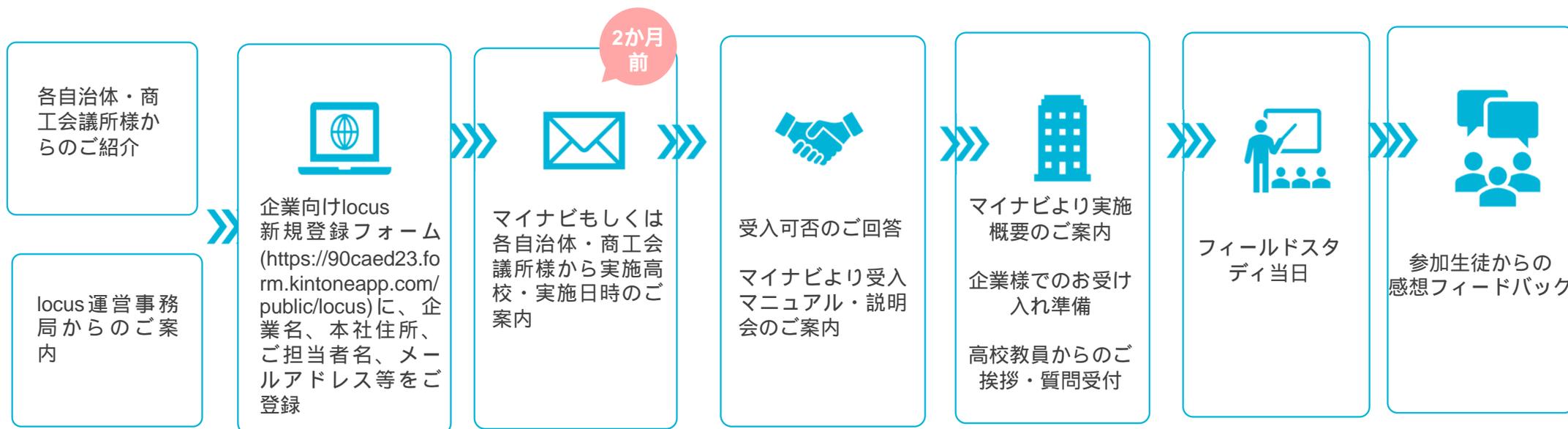
- ✓ 企業の皆様にご実施いただきたいフィールドスタディの受入時間は3時間前後です。
- ✓ お受けいただき最大人数は、企業様にてご決定いただけます。5～30名の企業様が多いです。
- ✓ ご登録後、必ず受け入れをお願いするものではありません。ご登録後、日程等をご確認いただき、最終的な受け入れの可否をご判断ください。



- ・運営事務局では、約2か月に1回程度企業様向けの説明会を実施しています。当日参加できない企業の方には、アーカイブ動画にて説明会の内容を共有いたします。
- ・ご登録企業様には、詳細な受入マニュアル・当日ご使用いただけるスライドテンプレート等のサポートツールをご用意しております。
- ・ご不明点は、お問い合わせフォーム (<https://90caed23.form.kintoneapp.com/public/locus-info>) より随時お受けいたしております。

登録から受入まで（出張講義型）

企業様がlocusに登録してから実際に受け入れるまでの流れを紹介します。



- ・運営事務局では、約2か月に1回程度企業様向けの説明会を実施しています。当日参加できない企業の方には、アーカイブ動画にて説明会の内容を共有いたします。
- ・ご登録企業様には、詳細な受入マニュアル・当日ご使用いただけるスライドテンプレート等のサポートツールをご用意しております。
- ・ご不明点は、お問い合わせフォーム（<https://90caed23.form.kintoneapp.com/public/locus-info>）より随時お受けいたしております。

Q&A

Q 企業の費用負担は本当に無いのですか？

A ございません。

Q 受入日はこちらで設定できますか？

A 恐れ入りますが、高校の実施希望日に合わせていただく形式でございます。

Q 何人くらい受け入れればよいですか？

A 会議室等で座学形式での実施が多いため、5-30名程度お受け入れいただいている企業様が多いです。WEB会議ツールを利用して、リモートで実施する場合もございます。上限の受け入れ人数は、貴社で設定いただけます。

Q 高校生の企業訪問を受け入れたことがないので、実施出来るか不安です。

A お受け入れ用のマニュアルをご用意しております。その他、locus運営事務局がサポート致します。

Q 主な実施高校や学年は？

A 普通科高校にある「総合的な探究の時間」という授業の一環での活用がほとんどです。従って普通科高校の実施が多いです。実施学年は1, 2年生が多いです。

Q 企業を選ぶのは生徒ですか？教員ですか？

A 主に生徒です。locus登録後、企業様に事前に登録いただく、「課題解決のためのキーワード」をもとに生徒が企業を予約します。

Q 予約が0名の場合もありますか？

A 想定以上の企業様のエントリーをいただいた場合、発生いたします。

Q 当日何を話せばよいのかイメージがわかりません。

A 当日ご活用いただける「スライドテンプレート」をご用意しております。ぜひご参考にさせていただきます。

Q コロナ禍で、今はリモートのみ実施可能なのですが。

A リモート対応可能な学校もございますので、ご登録フォームの受入れ可能形式で、「リモート型」をご選択ください。

Q locusにはどこから登録出来ますか？

A 下記URLまたはQRコードからご登録いただけます。お問合せもお気軽にどうぞ。

locusご参画フォーム

<https://90caed23.form.kintoneapp.com/public/locus>



Company

株式会社マイナビ 高校支援統括本部 locus運営事務局
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1パレスサイドビル2F
☎ 03-6636-0718 ✉ locus-info@mynavi.jp



Information

locus サービスサイト <https://locus.mynavi.jp/>

お問い合わせフォーム <https://90caed23.form.kintoneapp.com/public/locus-info>